

(様式1)

## 平成19年度 事務事業評価表

記入年月日	平成19年3月30日	記入者		連絡先	042-684-3211
平成18年度部名	教育総務部	課名	相模湖教育課	課長名	深澤和則
平成19年度部名	福祉部	課名	相模湖福祉課	課長名	井上 明
事務事業名	子ども会育成事業				
予算上の事務事業名	子ども会育成費				
1 総合計画における位置づけ				施策コード	14220
基本目標	「学びあいあたたかさのある福祉文化都市」をめざして				
政策名	第4章 人間性豊かな子どもを育成します				
基本施策名	第2節 青少年の健全育成				
施策名	第2施策 家庭・地域の教育力の充実と学校との連携強化				
2 実施根拠及び関連法令・条例・規則・要綱等					
3 個別計画の概要				概要	
計画名					
計画年次		年度～		年度	
4 事業形態の区分	啓発・広報・イベント			5 事業開始年度	平成18年度
6 事業概要					
(1) 事業の目的(何のために行うのか、またはもたらしたい成果)				(2) 対象(誰、何)	
各ブロックの子ども会活動を補助し、地域教育力の向上及び心豊かな子どもの育成を図る。				各地区子ども会 21団体	
(3) 平成18年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。					
<ul style="list-style-type: none"> <li>子ども会リーダー研修委託</li> <li>子どもチャレンジフェスティバル委託</li> </ul>					
7 関連事業・類似事業又は他市の状況					
他市においても実施形態は異なるが、ジュニアリーダーの研修は行われている。					
8 事業費の推移 <span style="float: right;">〔単位：千円〕</span>					
年 度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
事業費	0	0	254	310	310
一般財源	0	0	254	310	310
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他の特定財源	0	0	0	0	0
人件費の合計	0	0	66	66	66
事業コスト合計	0	0	320	376	376
9 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率					
事業名 (主たる事業名)	子ども会リ-ダ-研修委託			対象名称 と単位	参加子ども数
年 度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
事業コスト(主たる事業)	0	0	254	254	254
対 象 数	0	0	75	85	85
単位あたり経費(円)	#DIV/0!	#DIV/0!	3,387	2,988	2,988
前 年 度 比		#DIV/0!	#DIV/0!	0.88	1.00

10 活動指標・・・実施した内容（活動）を数値化したもの					
指標名と単位	ジュニアリーダー研修参加率	指標式と指標の説明	参加者数/参加対象児童数×100		
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	0.0	0.0	95.0		
目標	0.0	0.0	100.0	100.0	100.0
目標達成度（%）	#DIV/0!	#DIV/0!	95.0		
11 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	ジュニアリーダー研修参加率	指標式と指標の説明	参加者数/参加対象児童数×100		
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	0.0	0.0	95.0		
目標	0.0	0.0	100.0	100.0	100.0
目標達成度（%）	#DIV/0!	#DIV/0!	95.0		
12 個別評価					
(1) 妥当性の評価 [A:妥当である・B:妥当性に課題がある・C:妥当でない]					
A	<input type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 [A:有効である・B:有効性を高める余地がある・C:有効でない]					
A	<input type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 [A:効率が良い・B:効率性を高める余地がある・C:効率が悪い]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input type="checkbox"/>	・再任用や非常勤職員などを活用しても、これ以上のコスト節減の余地がない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力または市民協働の導入の可能性〔有・無〕					
無	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、市民協働により推進する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部に民間委託を導入しているが、さらに民間委託を導入しても効果が見込めない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・市で実施する方が民間委託等をするより適している。			
13 総合評価（一次評価）					
(1) 自動判定結果					
	〔 〕：良好な状態を維持する事業				
	〔 〕：概ね良好な状況である事業				
	〔 〕：見直しを行う必要がある事業				
	〔 〕：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 事業所管課長による評価（今後の方向性）			(3) 事業所管課長の評価に関する説明		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		青少年が学年の垣根を超え様々な体験を通して心身ともに健全に成長する機会として意義がある。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
14 成果向上及び効率性を高めるための方策			15 課題として認識されたこと		
ジュニアリーダー研修の成果を他の子ども会活動に反映させ、ジュニアリーダー研修の実施意義を高める。			地域における子どもの数が減少傾向にある中で、多くの子どもたちが集うためにどのような工夫をするか。また、体験することの重要性を保護者に理解し、合併間もない中で、市全域を対象とした交流事業もあり、貴重な事業として位置づけ、回数・開催場所等の検討する必要がある。		
(1) 局内評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			